



子宮ファイバースコープについて

● 子宮ファイバースコープとは？

- 子宮ファイバースコープは、細く柔らかい内視鏡です。これを膣から子宮に挿入して、子宮内にブドウ糖液を灌流しながら内腔の観察や病変の治療を行います。

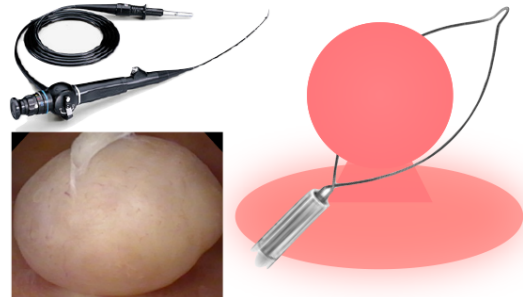


● 適応

- 子宮内の病変 (内膜ポリープ、内膜増殖症、子宮粘膜下筋腫など)、子宮の形態異常、原因不明の子宮出血などが適応です。
- 検査のために行う場合と、治療も兼ねて行う場合があります。

● 方法

- 月経の後半～終了直後に行います。特に準備は必要ないので、いつでも行うことができますが、あらかじめ予約していただいたほうがスムーズに行えます。
- 麻酔は不要ですが、術中に痛みを訴えた場合は局所麻酔を追加します。
- 出産経験のない女性では、子宮口が狭くてスコープが挿入できないことがあります。そのような場合は、吸水性の拡張剤で1時間ほどかけて子宮頸管を拡張します。
- あまり大きくない内膜ポリープは、リング状の切除器具 (スネア) で切除します。
- 子宮内の組織を吸引して病理組織検査に提出することもあります。病理組織検査の結果が出るまで約1週間かかります。
- 費用は、検査だけの場合が約3,000円、子宮内膜ポリープを切除した場合が約20,000円です (いずれも保険適用)。



● 合併症

- **出血**：スコープ挿入時に出血することがありますが、通常は自然に止血します。
- **感染**：処置に時間がかかった場合は、感染予防のために抗菌薬を処方します。
- **子宮穿孔**：スコープを無理に挿入すると起こりえますが、そのようなことがないように十分に注意して行います。

検査・治療の実施日： 月 日 : に来院ください

- 準備するもの：ナプキン2～3個
- 食事は普通にとってきてかまいません

※ キャンセルや実施日時を変更したい場合は、必ずお電話でご連絡ください。